

# 「皆様ご多幸の1年で!!」

仙北市長 門脇 光浩

皆様と共に新年を迎えることができ、本当にありがたいです。市民の皆様が、ご多幸の一年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

さて昨年末、ビッグニュースが幾つも飛び込みました。何だか長いトンネルから抜け出せたような気がしています。「角館祭りのやま行事」ユネスコ無形文化遺産の登録、仙北市農山村体験推進協議会の「ディスカバー農山漁村の宝・特別賞」の受賞、東京オリンピック・パラリンピックで仙北市のホストタウン決定、ミシュラン・グリーンガイドの評価で、新たに星の獲得と市内8か所の掲載…。まさに先達や今を生きる市民の営みが、国内外で認められた成果です。書類審査の後のプレゼンテーションや現地調査対応など、関係の皆様にご改めて御礼を申し上げます。今年はこちらをテコに、観光産業を市の総合産

業と位置づけ展開強化を狙います。

一方で、内政面は解決すべき課題が山積しています。人口減少と定住対策は、新婚世帯応援から出産のお祝い、小・中学生の医療費無料化、高等教育への支援など、市の政策拡充を足早に進めています。が、未だ十分とは言えない状況です。若者の雇用の場づくりを目指し取り組んだ企業誘致は不調に終わり、新たに進出を考える企業との協議に入っています。さらに来年度は、市内事業所や就業希望者に新たな支援策を始めたと思います。平成21年度と平成25年度の県市町村民経済計算対比を見ると、公約の市民所得10%アップは達成（18.5%）できました。でも実生活では改善が進んでいません。神代診療所の常勤医師の確保、社会保障費の財源調達も難儀しています。懸案だった統合庁舎整備事業は、市議

会の判断を受け建設を断念しました。新たに、議会と市民の皆様に向け、田沢湖・西木の両庁舎の改修、角館庁舎の新築案を提示中です。

角館総合病院の新築移転は順調に進み、この4月から業務を開始します。アクセス路線として重要な市道岩瀬北野線整備事業は、お盆前後には供用開始できそうです。田沢湖病院は、温泉と連携した市民の健康増進活動事業に着手します。田沢湖クニマス末来館は6月オープン予定です。西木温泉クリオンは、プール改修で水泳教室、健康体操など多数のメニュー提供を始めます。農林業振興は市の独自対策が急務な状況です。政府方針では、平成30年産米以降の生産数量目標配分の廃止、米の直接支払い交付金の廃止を示しています。農業所得の減少が地域経済にもたらす影響をいかに軽減するか、大いに議論したいと思います。教育分野では、学校適正配置や総合給食センター・総合体育館の検討を加速します。さて今年の仙北市は、例年にも増

して国内外から多くの皆様をお迎えできそうです。国際規模のものではアジア太平洋温泉会議、田沢湖・澄清湖姉妹湖締結30周年事業、フリースタイルスキーワールドカップ競技会、世界合気道競技大会などが、また国内では全国健康福祉祭、浜田謹吾像建立30周年記念式典、全国京都会議、昔ばなし大学、日本陸水学会、日本電子情報通信学会などが開催予定です。国から採択いただいたインバウンド事業と併せ、「小さな国際文化都市」の歩みは着実です。

ところで、次期アメリカ大統領やEU諸国の指導者が、内向き外交と経済政策に舵を切ったことは大きな不安材料です。併せて韓国の政治不安、中国の経済失速、北朝鮮の反国際行動などからも目が離せません。地方自治体も国際情勢と不可分な時代になりました。しかし特区も地方創生も、間違いなく主役は市民の皆様です。日常生活の安心・安全、経済成長、行政サービスの維持向上に向け、今年も皆様の一層のご指導とご協力をよろしく願います。